
北陸地方を商圈とする量販店 ヤスサキが、 流通 BMS 対応の新 EDI システムに「ACMS シリーズ」を採用 取引先規模に応じた3つの流通 BMS パターンを統合管理、約2ヶ月で移行を実現

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、北陸地方を商圈に食品スーパー11店舗、衣料品店舗10店舗、ホームセンター5店舗、その他、ファッション・雑貨専門店、100円均一のFC店舗などを運営する量販事業者 ヤスサキグループ（本社：福井県福井市、代表取締役社長：安崎 昌治、以下、ヤスサキ）が、流通業界の業界標準「流通 BMS（流通ビジネスメッセージ標準）」※1 対応の新 EDI システムに「ACMS シリーズ」を採用し運用を開始したことを発表します。

新 EDI システムは、様々な EDI 形態を統合管理できる B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」を中核に、オプションの Web-EDI システム基盤「ACMS WebFramer」と小売業向けの業務テンプレート「ACMS WebFramer 流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレート」で構築し、取引先規模に応じた3つの流通 BMS パターンを提供しました。また、約2か月間という短期間で移行を実現し、ACMS シリーズの信頼性や統合運用性などから、取引先と正確かつ安定したデータ交換が可能になりました。

ヤスサキは、13年来、独自のデータフォーマットによるインターネットを使った EDI システムを利用してきましたが、自社の EDI システムだけでなく、取引先に利用してもらう受注システムも含め老朽化が大きな課題でした。また、2019年10月1日実施の消費税軽減税率への対応も必要であり、2016年7月に EDI システムを刷新する方向で検討を開始、EDI の仕様では、流通業界の業界標準「流通 BMS」の採用を決断しました。この時最も重要視したのが、取引先の負担をできるだけ抑え、受注システムの切り替えをスムーズに行ってもらうことでした。

ヤスサキの取引先は、家族経営から大手企業までの様々な規模で約200社あり、取引先規模にあわせて以下の3つの流通 BMS パターンを用意しました。これにより、取引先の導入負担も抑えつつ、短期間かつスムーズな新 EDI システムへの移行を実現しています。

1. 自社構築プラン 対象：65社
流通 BMS をすでに導入済みの大手や中堅クラスの取引先には、ヤスサキとの取引に対応したソフトウェアを自社で調達、あるいは構築してもらいました。
2. レンタルプラン 対象：48社
取引量が多く自社システムとのデータ連携が必要で、ソフトウェアの自社調達が難しい大規模から中規模の取引先には、月額料金で利用できる流通 BMS 対応のシステム「WinWin-EDI」※2 をレンタルで提供しました。
3. Web-EDI プラン 対象：44社
自社システムとの連携は必要なく、取引量も比較的少ないが、ヤスサキとのデータ交換を EDI で継続したい取引先には、「ACMS WebFramer」と「ACMS WebFramer 流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレート」で構築した流通 BMS を補完する Web-EDI を用意しました。Web-EDI ならシステムの専任担当者がいなくてもインターネット環境と Web ブラウザさえあれば迅速に流通 BMS

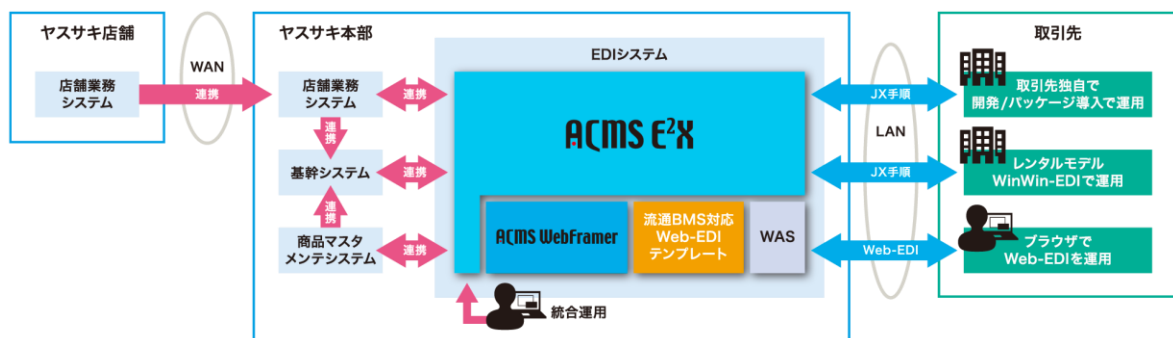
に切り替えることができました。

取引先の窓口はこのような多様ですが、店舗側では従来どおり商品バーコードを読み取って数量を入力し、発注を確定するだけでした。「店舗オペレーションを煩雑にしないように」との経営トップからの厳命も守ることができました。

株式会社ヤスサキ 管理部 マネージャー 財務・経理・人事・システム担当 木間 学様からは「業界標準の流通 BMS、それに対応した ACMS シリーズを導入し 3つのパターンを提供することで、企業規模の異なる取引先に対し導入負担も低く抑えられると考えました。それでいて店舗側の発注オペレーションは、どのパターンで取引している取引先であっても変化はないため、これが最善の選択だと判断しました。今後は、EDI での取引未体験の取引先もあるので、導入していただけるよう尽力したいです。」と、コメントをいただいています。

DAL は、今後もお客様の多様なニーズにあわせて、流通業界含むすべての業界に対し、データ連携市場にビジネスを推進します。

【ヤスサキ システム概要図】



以上

※1：流通 BMS：「流通ビジネスメッセージ標準（Business Message Standards）」の略で、流通事業者（メーカー、卸、小売）が統一的に利用できる EDI の標準仕様。経済産業省の「流通システム標準化事業」により、2007 年 4 月に制定されました。

※2：株式会社リテールサイエンスが提供する流通 BMS に特化した業務システムです。

【ヤスサキグループについて】

株式会社ヤスサキは、北陸地方を商圈に食品スーパー11店舗、衣料品店舗10店舗、ホームセンター5店舗、その他、ファッション・雑貨専門店、100円均一のFC店舗などを運営する量販事業者です。衣・食・住すべてをカバーする商品提供をモットーに、豊富な品揃えで地域一番店の地位を確立しています。また、消費者のニーズを的確に把握し、即応するための企画力と提案力を持つ企業を目指しています。

- 設立 1966年2月3日
- 本社所在地 福井県福井市新保北 1 丁目303番地
- 従業員数 1,450人（男450人、女1,000人） ※パート含む
- 資本金 1億1,200万円（グループ合計）
- 代表者 代表取締役会長 安崎 政士、代表取締役社長 安崎 昌治
- 売上高 234 億円（2016 年 3 月時点）
- 【HP】 <http://www.yasusaki.co.jp/>

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】

DAL は、1992 年に最初の UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にシステム連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェアを自社開発し、国産ソフトウェアベンダとして EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立。2007 年 4 月にジャスダックに上場しました(JASDAQ:3848)。

DAL の「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」は、国内 72 社のビジネス・パートナーを経由して販売され、すでに 2100 社 10000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」をはじめ、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築できる B2B サーバ「ACMS B2B」、企業内外のデータ連携を行う B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」など、システム規模・接続ニーズに応じた製品ラインアップを揃えています。また、システム連携では不可欠なデータのフォーマットや文字コードの変換・加工を行うデータ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」も提供しています。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, AnyTran, E2X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。